

今年も欲張ろう

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏



新年、あけましておめでとうございます。今年もよろしく願い申し上げます。

皆さま、2016年、今年

はどんな抱負をお持ちで

しょうか。

“欲”といえば、「欲張り」「欲をかく」「強欲」など、世間ではあまり良い言葉としては使われません。特に日本文化では、舌切雀の物語のように欲をかかないことが美德とされてきました。もちろんそのような謙虚な日本文化があったからこそ世界から注目される「クールジャパン」が育ったのだと自負しています。

しかし、もし欲が無かったらどうなっているでしょう。

- ・給料…最低限の生活ができればよい。余分な給料をもらったなら慈善事業に寄付をする。
- ・社会的な立場…別に納得いかない仕事でも、人から命令された仕事に文句を言わずに仕事する。
- ・他人からの尊敬…軽蔑されても気にしない。
- ・おいしい食事をしたい・・・自宅で有り合わせの食事をすれば十分。

実は“欲”というのは、人にとって生きる目的や成長の原動力なのです。“欲”が世間であまりよくいわれない理由は、自己の“欲”を満足するために、社会的な道徳やマナーに反してまで実現しようとするのは良くないからです。またガツガツと欲をかくのもカッコよくありません。ですから、クールに欲張ることはとても良いことだと思います。

昭和61年、技師学校時代に彼女ができれば車でデートしたいと、必死にバイトをして、スポーツタイプの車を買いました。「私をスキーにつれて行って」という映画を見て、スキーがうまくなったら女の子にもてるといわれ、1級まで取りました。当時はバブルだったので、いつかはクルーザーに乗ることを夢見て、小型船舶免許を取得しました。社会にでてからは、いつか土地や建物などの財産を保有した時に備え、契約などに強くなろうと行政書士を取得しました。技師になりたてのころは、土日の休みを全て返上し日勤や当直のバイトを入れました。昨年度は家族にわがままを言って大学院で修士を取得させてもらいました。少しでも患者や世の中の人々の役に立ちたいと、仕事や技師会に励みました。おかげで今は仕事や遊びを共にする素晴らしい仲間がいます。ちなみに残念ながら学生時代、僕の助手席は常に男の同級生でしたし、スキーのインストラクターは、小中高生を対象としたスキー学校だけでした。行政書士の知識は今の行政の仕事と技師会活動で大変役に立っています。

私の今年の“欲張り”は三つあります。一つ目はチーム医療の一環として臨床医と垣根のない意見交換のできる勉強会を作ることです。二つ目は、家庭菜園を始めたいと思っています。60歳になったら本格的に農業を営みたいからです。トラクターで近くのバス停へ友人を迎えに行くのが私の夢です。三つ目は、船舶の操船技術を磨いて江ノ島までクルージングをすることです。

皆さんはどんな欲張りプランをお持ちでしょうか。